

三菱電機株式会社

冷電技術ノート	作成	東(耕)、石井	改定	A				
	検認	小林		99-5-20				

コンデンシングユニット<中低温用>

一体空冷式<R22・スクロール>

項目	形名	ERA-Z22B(-BS)	ERA-Z30B(-BS)	ERA-Z37B(-BS)	ERA-Z45C(-BS)	ERA-Z55C(-BS)	ERA-Z75D(-BS)
呼称出力	kW	2.2	3.0	3.7	4.5	5.5	7.5
法定冷凍トン	トン	1.1/1.4	1.6/1.9	1.9/2.3	2.4/2.9	2.8/3.4	3.4/4.0
吸入圧力飽和温度範囲	℃	-45~-5					
冷媒		R22					
据付条件	℃	屋外設置・周囲温度 -15~+40					
電源		三相 200V 50/60Hz					
消費電力<注3>	kW	2.8/3.4	3.7/4.6	4.2/5.15	4.9/6.4	6.1/7.8	8.1/9.75
運転電流<注3>	A	9.75/11.3	13.3/15.3	15.1/17.5	17.3/21.0	20.8/25.5	28.06/31.6
力率<注3>	%	82.9/86.9	80.3/86.8	80.3/85.0	81.8/88.0	84.7/88.3	83.3/89.1
始動電流	A	76/67	86/75	109/94	122/107	154/137	200/174
圧縮機	形名	ZMJ055TA1	ZMJ075TA1	ZML092TB1	ZMJ117TB1	ZMJ138TC1	ZMJ165TD2
定格出力	kW	2.2	3.0	3.7	4.5	5.5	7.5
機	押しけ量	m ³ /h	9.7/11.6	13.2/15.8	16.1/19.3	20.5/24.6	24.1/28.9
	クランクケースヒータ	W	62			72	
冷凍機油	種類	SUNISO 3GSD					
	初期充填量	L	1.8	2.3		3.2	
	その他	L	-	-		-	
	正規充填量<注5>	L	1.3	1.9		2.8	
凝縮器	熱交換器形式	プレートフィンチューブ式					
	送風機	電動機出力	W	80	45+55	55+80	95+95
		ファン径	mm	φ400×1	φ400×2		φ400×3
	風量	m ³ /min	50/50	85/85		140/140	
	凝縮圧力調整装置	電子ファンコントローラ					
受液器	内容量	L	6.5	15.1		19.0	28.0
	可溶栓	有<口径φ5、溶融温度82℃以下>				有<口径φ7.2、溶融温度82℃以下>	
容量制御		-		有<0-60-100%>	-		
始動方式		-					
高圧カット防止機能		-		有<ON2.6MPa, OFF2.0MPa>	-		
保護装置	高低圧圧力開閉器	有					
	電磁開閉器・熱動過電流継電器	有<21A設定>	有<27A設定>	有<27A設定>	有<31A設定>	有<38A設定>	有<50A設定>
	温度開閉器(圧縮機・吐出管)	有<OFF:135℃、ON115℃>					
	温度開閉器(圧縮機インナーサーモ)	有<OFF:130℃、ON108℃>					
	ヒューズ	操作回路用	250V 5A			250V 5A・1A	
		凝縮器送風機用	250V 5A				
	逆相防止器	有					
油温検出保護	-			有			
内蔵品	圧力計	有<低圧、高圧>					
	サクシオンアキュムレータ	有<4L>		有<9L>		有<12L>	有<17L>
	油分離器	有					
	ドライヤ	有					
	サイトグラス	有					
付属部品	予備ヒューズ<5A>・チェックジョイント			予備ヒューズ<5A・1A>・チェックジョイント			
外装色	マンセル 5Y 8/1						
外形寸法<高さ×幅×奥行>	mm	1445×1000×500			1700×1000×500		1700×1500×500
質量	kg	162	177	187	230	285	305
	kg	145	160	170	205	260	280
配管寸法	吸入配管	mm	φ19.05S		φ25.4S		φ31.75S
	液配管	mm	φ9.52F		φ12.7F		
	ホットガス配管	mm	φ15.88S+φ15.88F			φ19.05S	
騒音<注2>	dB(A)	48/49	48/49	49/50	51/52	53/54	55/56

注1. 配管寸法欄 記号F:フレア接続, 記号S:ロー付接続

2. 騒音値の測定条件は次の通りです。

周囲温度: 32℃, 蒸発温度: -15℃

測定場所: 無響音室でユニット前面より距離 1m, 高さ 1m

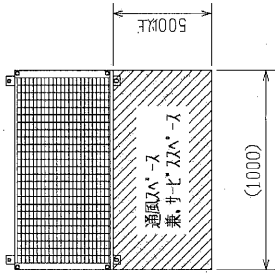
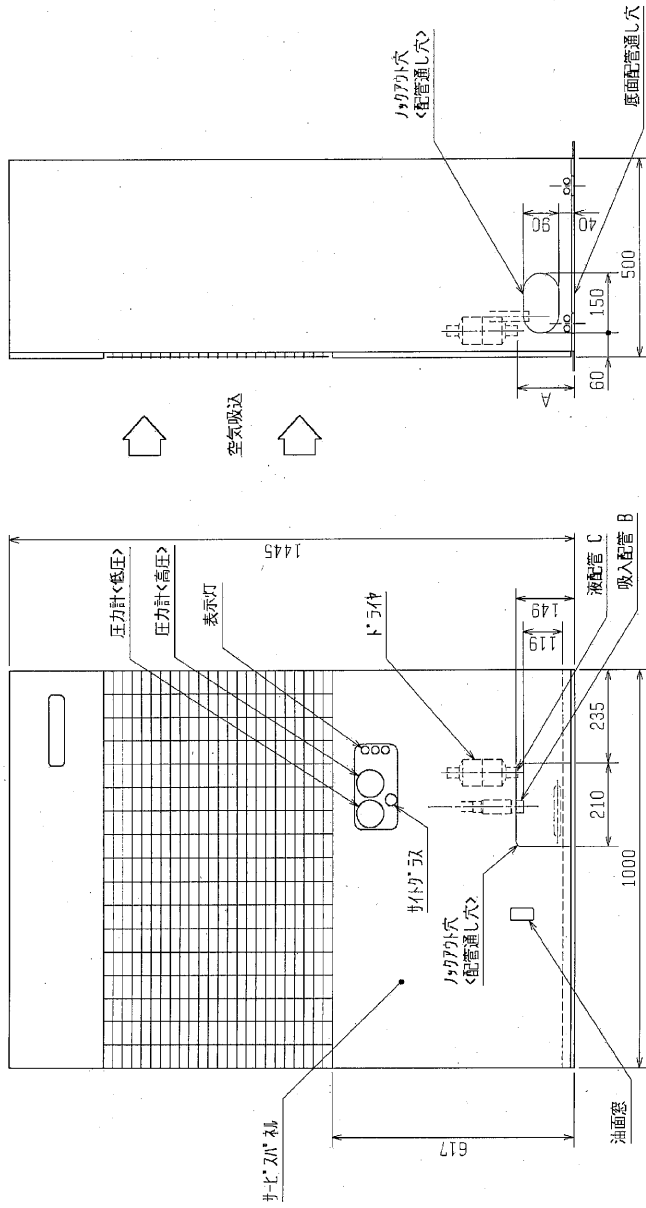
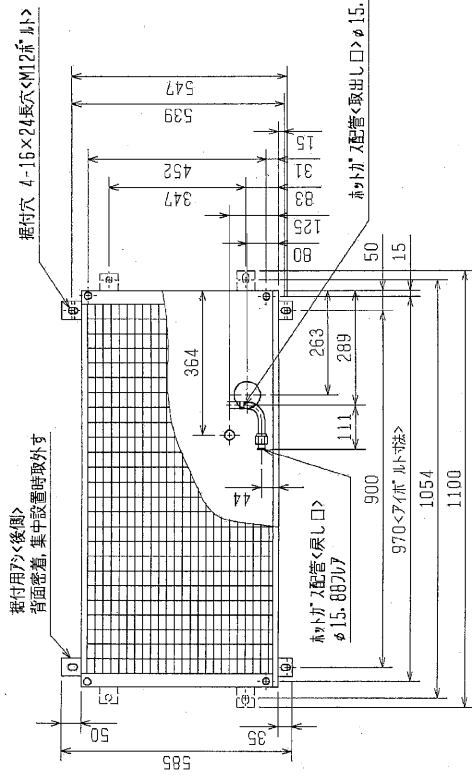
3. 測定条件は次の通りです。

周囲温度: 32℃, 蒸発温度: -10℃, 吸込ガス温度: 18℃, サブクール: 5K

4. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

5. 正規充填量は圧縮機油面窓中心での油量を示します。

コンデンシングユニット標準仕様書	WAN17-007-A
------------------	-------------



変化寸法表

機種	A	B	C
ERA-Z22B	185	φ19.0507付	φ9.52707
ERA-Z30B-Z37B-Z45B(1)-ZH37A	179	φ25.407付	φ12.7707

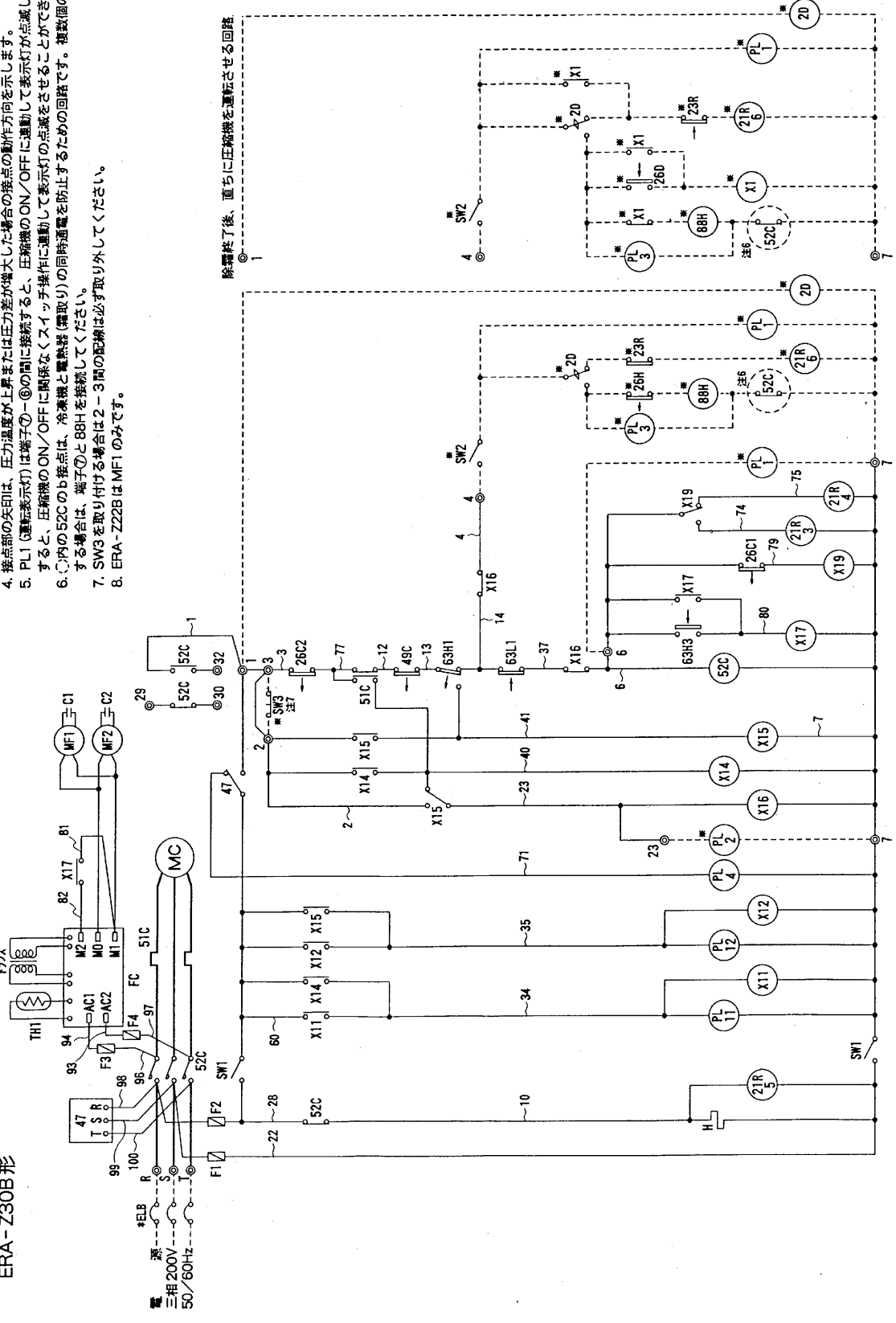
注: 本品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

作成日付 ISSUED	1990-04-13	2005-07-01
改定日付 REVISED		
TITLE	一体空気式J0-形ホトガシ・ランガ・ユニット外形図 ERA-Z22B, Z30B, Z37B (-BS) -Z45B (1), ZH37A (-BS)	
DIM	mm	
SCALE	NTS	
DRW. NO.	W394755	
REV.	H	1/1
PAGE	1/1	

三菱電機株式会社

■ 電気配線図
 ERA-Z22B形
 ERA-Z30B形

- 注 1. ※印の機器は現地手配となります。
 2. ---- 線は現地配線となります。
 3. SW2, SW3, PL1~3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
 4. 接点部の矢印は、圧力温度が上昇または圧力差が増大した場合の動作方向を示しています。
 5. PL1 (運転表示灯)は端子①-②の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点滅させることができます。
 6. ①内の52Cのb接点は、冷凍機と電熱器(霜取り)の同時通電を防止するための回路です。複数のクーラーを個別に運転する場合は、端子①の88Hを接続してください。
 7. SW3を取り付ける場合は2~3間の配線は必ず取り外してください。
 8. ERA-Z22BはMF1のみです。



除霜終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路

記号	名称
C1-2	コンデンサ<送風機用電動機>
FC	ファンコンローラ
F1-2-3-4	ヒューズ(F1: 制御回路用, F3, 4: 7A/250V)
H	電熱器(クランクケース)
MC	圧縮機用電動機
MF1-2	送風機用電動機
PL4	表示灯<異常(送風機・アカ)>
PL11	表示灯<異常(高圧)>
PL12	表示灯<異常(高圧)>
SW1	スイッチ<クーリス用手元スイッチ>
TH1	サーモスタット<ファンコンローラ>
XT1-12:14-17:18	補助電線
Z1R3	電磁弁<高インジエクション>
Z1R4	電磁弁<高インジエクション>
Z1R5	電磁弁<過負荷>
Z6C1	温度制御<高インジエクション>
Z6C2	温度制御<パワフルアプ>
47	圧縮機用電動機
49C	温度制御<圧縮機>
52C	温度制御<圧縮機>
63H1	圧力制御<高圧>
63H2	圧力制御<高圧>
63H3	圧力制御<高圧>
63H4	圧力制御<高圧>
63H5	圧力制御<高圧>
63H6	圧力制御<高圧>
63H7	圧力制御<高圧>
63H8	圧力制御<高圧>
63H9	圧力制御<高圧>
63H10	圧力制御<高圧>
63H11	圧力制御<高圧>
63H12	圧力制御<高圧>
63H13	圧力制御<高圧>
63H14	圧力制御<高圧>
63H15	圧力制御<高圧>
63H16	圧力制御<高圧>
63H17	圧力制御<高圧>
63H18	圧力制御<高圧>
63H19	圧力制御<高圧>
63H20	圧力制御<高圧>
63H21	圧力制御<高圧>
63H22	圧力制御<高圧>
63H23	圧力制御<高圧>
63H24	圧力制御<高圧>
63H25	圧力制御<高圧>
63H26	圧力制御<高圧>
63H27	圧力制御<高圧>
63H28	圧力制御<高圧>
63H29	圧力制御<高圧>
63H30	圧力制御<高圧>
63H31	圧力制御<高圧>
63H32	圧力制御<高圧>
63H33	圧力制御<高圧>
63H34	圧力制御<高圧>
63H35	圧力制御<高圧>
63H36	圧力制御<高圧>
63H37	圧力制御<高圧>
63H38	圧力制御<高圧>
63H39	圧力制御<高圧>
63H40	圧力制御<高圧>
63H41	圧力制御<高圧>
63H42	圧力制御<高圧>
63H43	圧力制御<高圧>
63H44	圧力制御<高圧>
63H45	圧力制御<高圧>
63H46	圧力制御<高圧>
63H47	圧力制御<高圧>
63H48	圧力制御<高圧>
63H49	圧力制御<高圧>
63H50	圧力制御<高圧>
63H51	圧力制御<高圧>
63H52	圧力制御<高圧>
63H53	圧力制御<高圧>
63H54	圧力制御<高圧>
63H55	圧力制御<高圧>
63H56	圧力制御<高圧>
63H57	圧力制御<高圧>
63H58	圧力制御<高圧>
63H59	圧力制御<高圧>
63H60	圧力制御<高圧>
63H61	圧力制御<高圧>
63H62	圧力制御<高圧>
63H63	圧力制御<高圧>
63H64	圧力制御<高圧>
63H65	圧力制御<高圧>
63H66	圧力制御<高圧>
63H67	圧力制御<高圧>
63H68	圧力制御<高圧>
63H69	圧力制御<高圧>
63H70	圧力制御<高圧>
63H71	圧力制御<高圧>
63H72	圧力制御<高圧>
63H73	圧力制御<高圧>
63H74	圧力制御<高圧>
63H75	圧力制御<高圧>
63H76	圧力制御<高圧>
63H77	圧力制御<高圧>
63H78	圧力制御<高圧>
63H79	圧力制御<高圧>
63H80	圧力制御<高圧>
63H81	圧力制御<高圧>
63H82	圧力制御<高圧>
63H83	圧力制御<高圧>
63H84	圧力制御<高圧>
63H85	圧力制御<高圧>
63H86	圧力制御<高圧>
63H87	圧力制御<高圧>
63H88	圧力制御<高圧>
63H89	圧力制御<高圧>
63H90	圧力制御<高圧>
63H91	圧力制御<高圧>
63H92	圧力制御<高圧>
63H93	圧力制御<高圧>
63H94	圧力制御<高圧>
63H95	圧力制御<高圧>
63H96	圧力制御<高圧>
63H97	圧力制御<高圧>
63H98	圧力制御<高圧>
63H99	圧力制御<高圧>
63H100	圧力制御<高圧>

出図先 ()

三菱電機株式会社 三菱電機株式会社 三菱電機株式会社

DATE 90-4-2

SCALE

NTS

APPROVED

森 梶山

木村 和

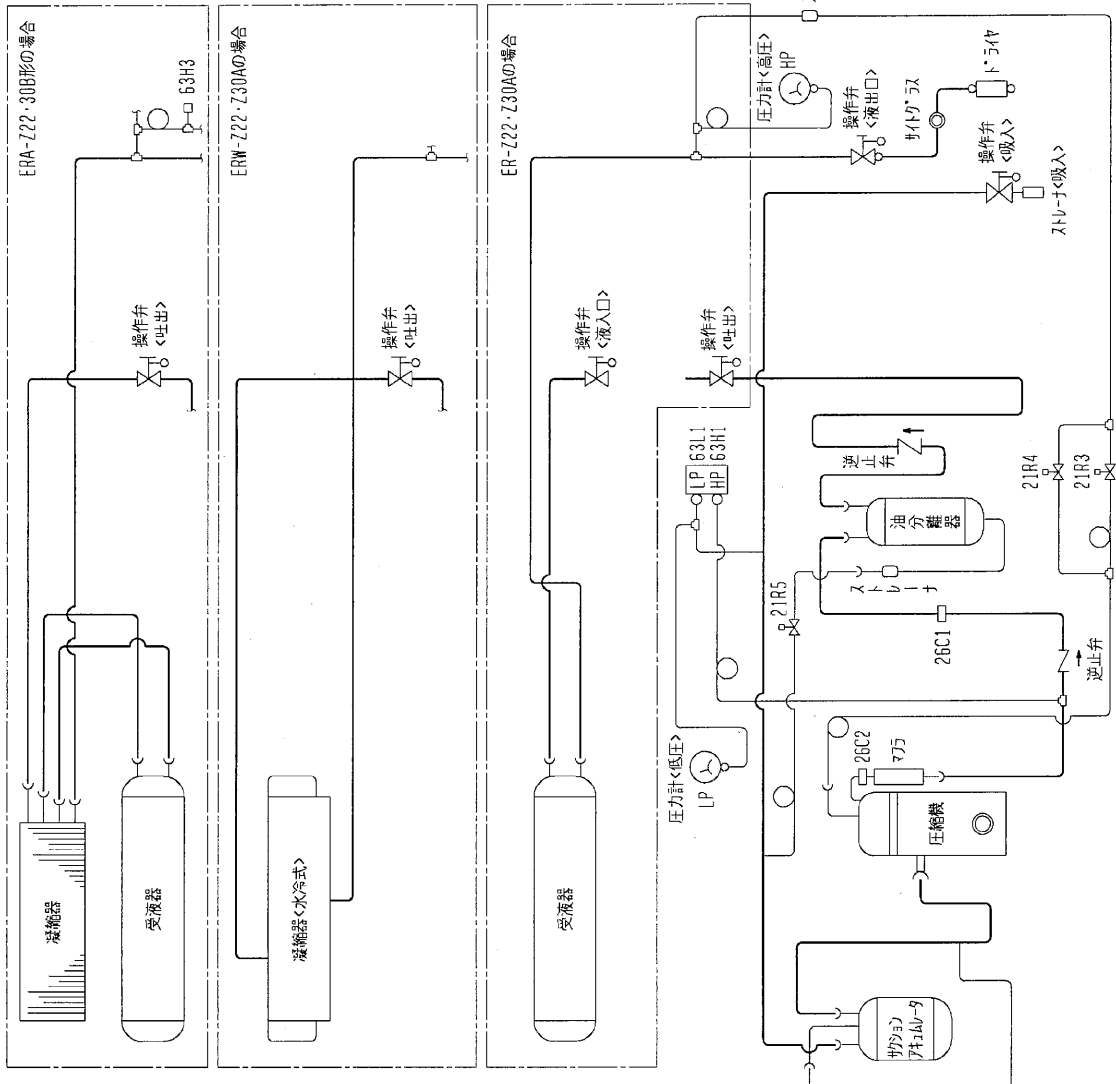
木村 上田

低 温 用

TITLE スクロール圧縮機搭載コンデンシングユニット ERA-Z22B, Z30B 電気配線図

DWG No. W394754

CHANGE



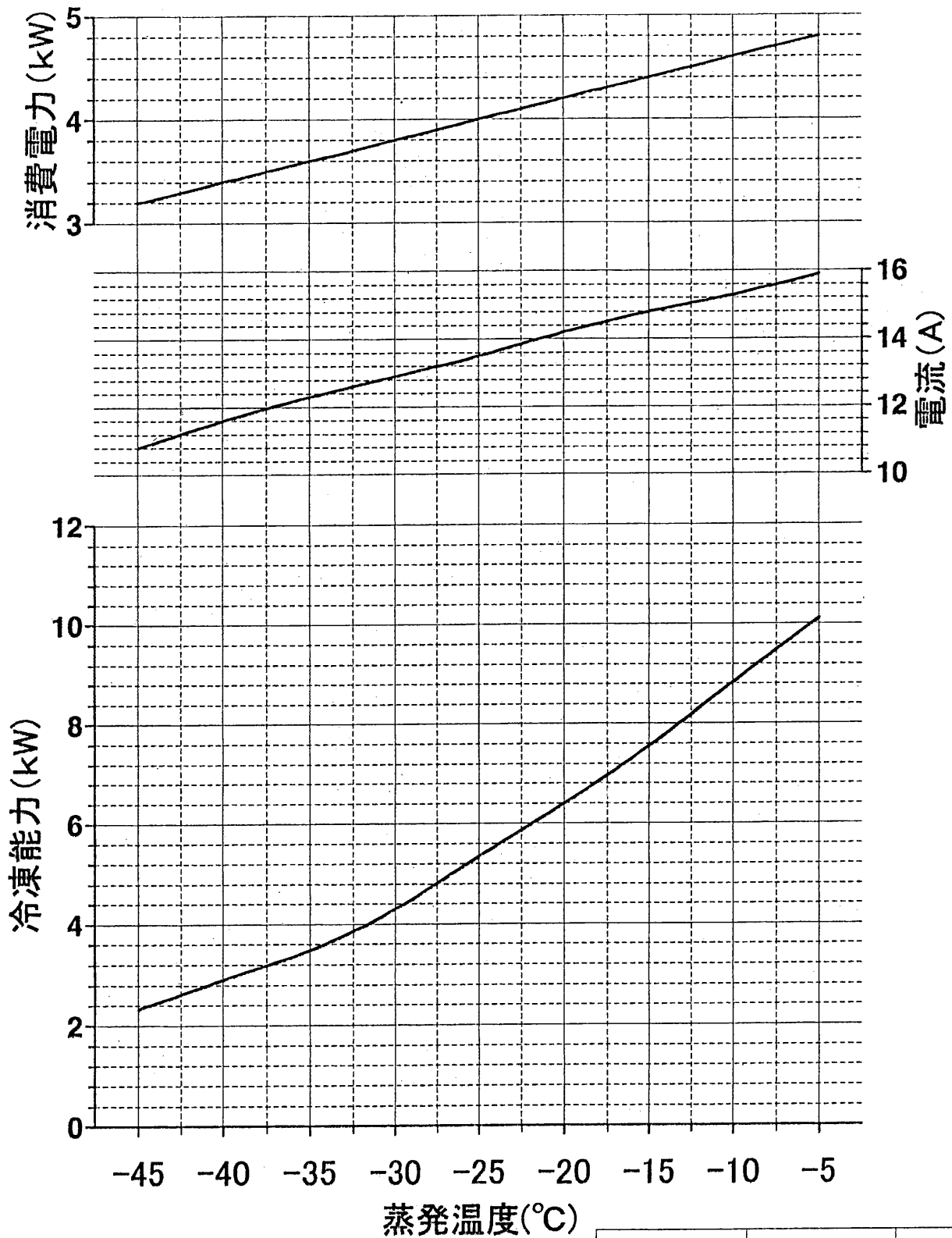
図中記号	機器名称	作動値
26C1	温度開閉器<インジケション>	105℃ ON, 117℃ OFF
26C2	温度開閉器<吐出>	115℃ ON, 135℃ OFF
63H1	圧力開閉器<高圧>	2.55MPa OFF (ER(A)形) 2.2MPa OFF (ERW形)
63H3	圧力開閉器<クアンパニクワ>	2.1MPa ON, 1.7MPa OFF (ERA形のみ)
21R3, 4	電磁弁<インジケション>	通電時開
21R5	電磁弁<油戻し>	通電時閉

注. 製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

	作成日付 ISSUED	2000-10-26	2005-02-03	一件型式30B-1形)ノリツグ工)ノ冷媒回路 ERA-Z22-30B-1形)ノ冷媒回路 ER-722-30A-1形)ノ冷媒回路 ERW-Z22A-30A-1形)ノ冷媒回路 ERW-Z22A-Z30A
	DIM	mm		

ERR-Z30/ERA-Z30(-BS)能力線図(60Hz)

電源 三相200V 吸入ガス温度 18°C
 周囲温度 32°C 過冷却度 5K



作成	照査	検認

作成	小坂 雄平	改定	
検認	阪上 95-12-8		

耐(重)塩害仕様書

◆適用 用： この仕様書は、次の環境汚染地域にコンデンシングユニット（室外機）を据え付ける場合に適用します。

1. 適用機種

A) 耐塩害仕様

ERA, ESA, ECA（半密閉形レシプロ式, 全密閉形スクロール式）

B) 耐重塩害仕様

ERA, ESA, ECA（半密閉形レシプロ式, 全密閉形スクロール式）

2. 適用環境

A) 耐塩害仕様

潮風には当たらないがその雰囲気にあるような場所。

- 具体的には
 - ① 室外機が雨で洗われる場所。
 - ② 潮風の当たらないところ。
 - ③ 室外機の設置場所から海までの距離が約300mを超え1km以内。
 - ④ 室外機が建物の影になる場所。

B) 耐重塩害仕様

潮風の影響を受ける場所。ただし、塩分を含んだ水が直接機器にはかからないものとする。

- 具体的には
 - ① 室外機に雨があまりかからない場所。
 - ② 潮風が直接当たるところ。
 - ③ 室外機の設置場所から海までの距離が約300m以内。
 - ④ 室外機が建物の表（海岸面）になる場所。
 - ⑤ 室外機設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所。

●海岸からの設置距離目安（設置環境により条件が変わります。）

① 直接潮風が当たるところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
①内海に面する地域	耐重塩害	耐塩害	——	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害		耐塩害	
③沖縄、離島	耐重塩害			

② 直接潮風が当たらないところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
①内海に面する地域	耐塩害		——	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害		耐塩害	
③沖縄、離島	耐重塩害			

◆留意事項

防蝕・耐塩害仕様機を使用した場合でも腐食・発錆に対して万全でなく、ユニットの設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

1. 海水飛沫および潮風に直接さらされる場所に設置しないでください。
2. 室外機外装パネルに付着した塩分等の雨水による洗浄効果を損なわないように、日除け等は取り付けしないでください。
3. 室外機ベース内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないように水平に据付け願います。
4. 特に、海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
5. 据付時・メンテナンス時に付いた傷は、補修をしてください。
6. 機器の状態を定期的に点検してください。

（必要に応じて再防錆処理や、部品交換等を実施してください。）

WAN15-587

三菱電機株式会社

作成		改定					
検認							

◆仕様一覧

部品番号	部品名	素 材	標 準	耐 塩 害	耐 重 塩 害	表面処理・部品仕様	
1	台枠	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○		ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
2	圧縮機取付板	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○		ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
3	ハシラFL・FR	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○		ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
4	マエイタ	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○		ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
5	モータ支え・支え足	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○		ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
6	支え枠	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○		ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
7	ケーシングSR・SL	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
				○		アクリルエナメル塗装(2C1B) ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
8	ケーシングFU	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
				○		アクリルエナメル塗装(2C1B) ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
9	ケーシングF	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
				○		アクリルエナメル塗装(2C1B) ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
10	取付板G 取付板DNS	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○		—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板				○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)	
11	リレーボックスカバー及び リレーボックス内板金	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○		—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板				○ ポリエステル粉体塗装(1C1B) アクリルエナメル塗装(2C1B)	
12	ウツクミタ	ケーシングBU	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○	○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
		ハシラ BR	溶融亜鉛メッキ鋼板	○		—————	
		ハシラ BL			○	○	エッジ部にエポキシ樹脂塗装追加
		ウツク	ガリバリウム鋼板	○			—————
13	シキリ板 ドレンパン	ガリバリウム鋼板	○			—————	
				○	○	エッジ部にエポキシ樹脂塗装追加	
14	その他内装板金	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			—————	
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○		ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ○ ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2	
15	放熱器	アルミニウム板	○			—————	
				○	○	アミノアルキド樹脂塗装追加	

WAN15-587

三菱電機株式会社

作成		改定				
検認						

◆仕様一覧

部品番号	部品名	素 材	標 準	耐 塩 害	耐 重 塩 害	表面処理・部品仕様
16	液溜	—————	○	○		エポキシ樹脂塗装 (2C)
					○	エポキシ樹脂塗装 (3C)
17	アキュムレータ	—————	○	○		アクリル樹脂塗装 (1C)
					○	アクリル樹脂塗装 (2C)
18	オイルセパレータ	—————	○	○		エポキシ樹脂塗装 (2C)
					○	エポキシ樹脂塗装 (3C)
19	電磁開閉器	—————	○	○		—————
					○	防蝕仕様品に変更
20	リレー	—————	○	○		—————
					○	気密性向上タイプに変更
21	表示銘板	—————	○			—————
					○	「JRA耐塩害仕様品」
					○	「JRA耐重塩害仕様品」

その他の部品仕様は標準と同じです。
機種により一部仕様の異なる場合があります。
仕様は製品改良の為予告なしに変更する場合があります。

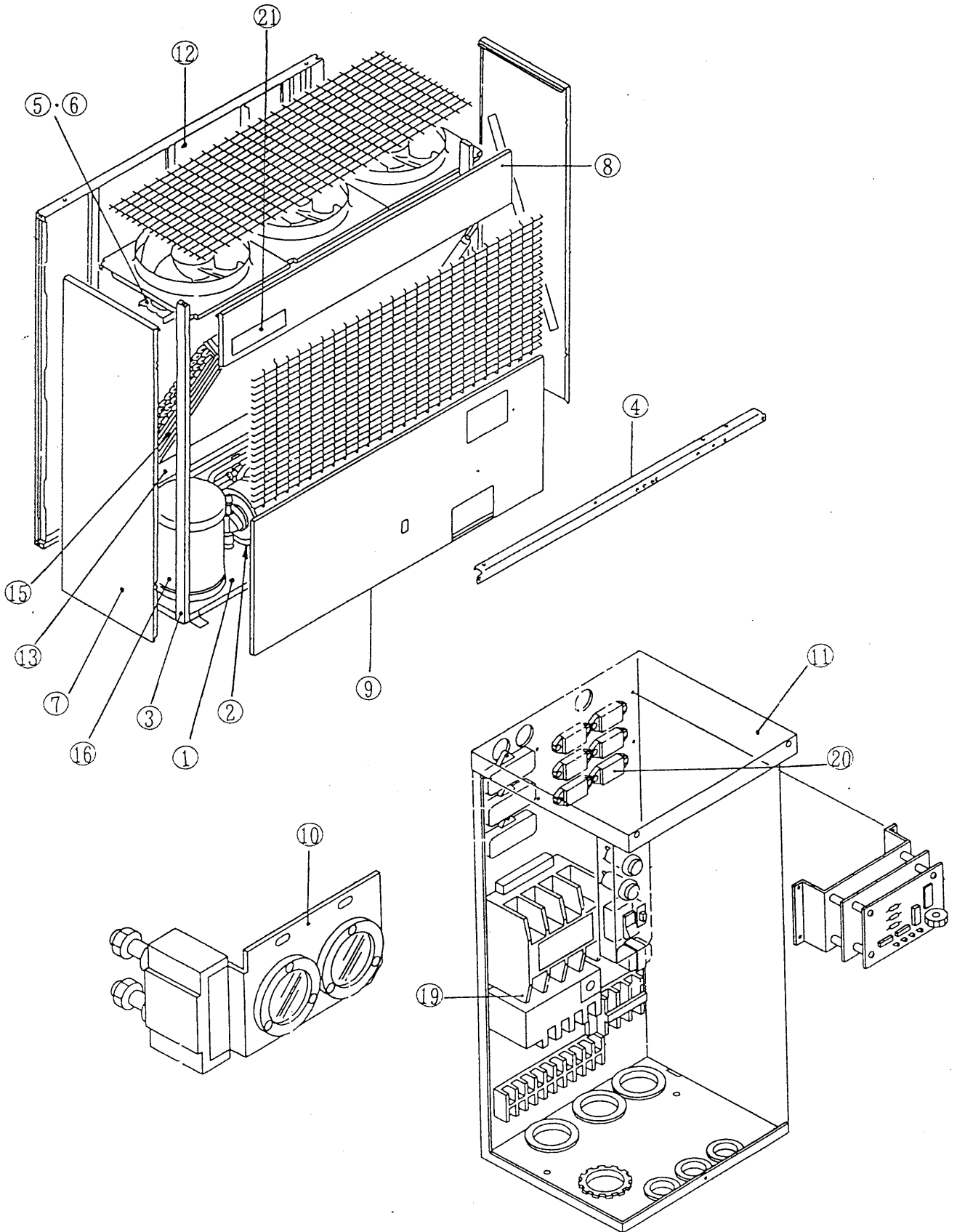
- ※1 : J R A耐塩害仕様基準に適合
- ※2 : J R A耐重塩害仕様基準に適合

◆準拠基準 ; 「空調機器の耐塩害試験基準(JRA9002-1991)」 : J R A (社団法人日本冷凍空調工業会) 制定

三菱電機株式会社

作成
検認

改定



WAN 15-587